

史料群番号 40

史料群名	かまがわまち 鴨川町文書（含 村上安太郎家文書）	旧所蔵者	鴨川漁業協同組合 村上安太郎
探訪時住所	千葉県安房郡鴨川町		
現在の住所	千葉県鴨川市		
探訪年月	昭和24（1949）年12月		
史料の年代	明治29（1892）年～昭和24（1949）年	史料の 総点数	389点
年代の内訳	近代 389点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「1950年3月 漁業制度資料目録 第1集 全国篇Ⅰ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」「平成十七年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-千葉県（房総半島沿岸地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

水産資料館の時代に「鴨川町文書」と名付けられた。「漁業制度資料目録 第1集」に「鴨川漁業協同組合文書」の目録が掲載されていて、本史料群の史料と概ね一致する。おそらく、所有者は「鴨川漁業協同組合」で、水産資料館で整理された際、史料の内容に則して「鴨川町文書」と命名したものであろう。ところで、本史料群には「鴨川漁業協同組合文書」の目録に見えないものが数点あり、これは「漁業制度資料目録 第1集」にある「村上安太郎家文書」の史料4点と標題名が一致する。おそらく、同家史料が混入したものと考えられる。

史料群の概要

安房郡鴨川町は明治22年から昭和46年までの千葉県の自治体名である。前原町、横渚（よこすか）村、貝渚（かいすか）村、磯村が合併して成立した。はじめ長狭（ながさ）郡、明治30年から安房郡に所属した。昭和46年に鴨川市となっている。鴨川は房総半島の東南端にあって、長い海岸線を持ち、黒潮の影響により、海藻類や貝類も豊富で、規模の大きな網漁も古くから行われてきた。

本史料群は、明治期を中心とした漁業組合の運営に関する史料によって占められる。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

